

人生の奥義

「その奥義は、啓示によって
わたしに知らされました」

(エペソ第3章3節)



人生は奥義です。あなたは何のために生まれたのでしょうか。人生の目的は何でしょうか。これを知るためには、神の計画が開かれなければなりません。この計画は、聖書の中で「神のエコノミー」と呼ばれています。神のエコノミーとは、人に対する神の計画全体のことで、神が人を創造された目的、すなわち人として生まれ、人として存在する意義、生きる目的、また人生の目的、さらには人が到達すべき究極のゴールについても明確に解き明かします。神のエコノミーがはっきりしてこそ、人生の意義を認識し、祝福に満ち、満足のある新しい人生を始めることができます。

「神は言われた、『われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう』」(創世記1章26節前半)。神は人をご自身のかたちに造られました。手袋は手のかたちに作られます。それは手を入れるためです。同じように、人が神のかたちに造られたのは、神を入れるためです。人は「神を入れる器」として造られました。ですから、神以外のもので人を満足させることはできません。器としての人は霊、魂、体の三部分から構成され、霊が最も深い部分です。人の霊は、霊である神に接触し、神を受け入れ、神を保持するための器官です。神は必ず人の霊の中に入り、人の内容とならなければなりません。こうして、神は人の真の満足となることができます。これこそ人として生まれ、人として存在する意義です。

しかし、器としての人は墮落し、罪によって汚されました。その結果、人は神を入れることができなくなりました。そこで、神は肉体と成り、人として地上に来られ、一方でわたしたちの救い主となり、もう一方で神のエコノミーを完成するキリストとされました。この方が主イエス・キリストです。彼はまず十字架上で人の罪と汚れを取り除き、次に三日目に復活して「命を与える霊」と成られました。人が主イエスを信じ受け入れるなら、彼はその人の霊の中に入り、神を命として分与します。これを「再生」と言います。それだけではなく、日々神を霊から魂へと広がらせ、最後に霊、魂、体すべてに神を満ちし、神を浸透させます。これを「栄光化」と言います。このようにして、人は神格においてではなく命と性質において神と同じとなり、神を内側から輝かし、表現する存在となります。これこそ神があなたのために定められた計画です。これこそ生きる目的、また人生の目的であり、主イエスを信じてクリスチャンとなる意義です。「義人の路は夜明けの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる」(箴言4章18節)